



NO.229

全日音研会報

音楽教育

令和7年1月発行

<http://www.jsme.net/>

全日本音楽教育研究会
事務局長 菊本和仁

「新しい年を迎えて」

謹賀新年 令和7年が皆様にとって実り多い年となると共に、全国の音楽教育のますますの飛躍と発展の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

今年の干支は、巳年。蛇は、脱皮を繰り返して成長していく生き物です。そこで新しい経験や学びを通じて自己を成長させることができる年と言われています。同時に失敗や困難を経験することもあるかもしれませんが、それらを新たな挑戦の機会として受け入れて前進していきましょう。

さて、昨年10月10・11日に開催された全国大会旭川上川大会には、道内はもとより全国各地から多くの先生方や音楽教育の関係者にご参加をいただき、盛会のうちに閉幕することができました。多忙な校務をやりくりして遠路よりご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、全日音研の諸事業にご理解とご支援をいただきました関係諸機関や賛助会員の皆様方にも心より御礼申し上げます。

次年度の全国大会は、10月23・24日に九州の佐賀で小中高大すべての校種が揃っての佐賀大会（総合大会）としての開催となります。旭川上川大会から新たな5年間の全国大会の「研究の視点3項目」の成果と課題を引き継ぎ、全日音研小中高大の各部会のさらなる連携を深めるとともに、全国大会を音楽教育の意義を高める実践研究として大会と大会を繋ぎ発展させる役割も充実させていきたいと考えております。

また、令和7年度の各地区音研大会の開催もすでに決まっています。全日音研と音楽鑑賞振興財団のホームページに各地区音研大会の第一次案内のチラシを掲載しています。先生方の授業改善や授業力向上に向けて、全国大会や地区音研大会の授業公開や研究協議等にご参加いただければと思います。

平成29年度に告示された小・中学校の学習指導要領（高等学校は平成30年度）が8年目を迎え、次期学習指導要領に向けて現行学習指導要領の成果と課題について実施状況調査が行われたり、有識者検討会等が開かれたりしています。次期学習指導要領がどのような方向や内容になっていくのかを確認するとともに、今後も音楽教育に関する研究を推進し、我が国音楽教育の向上発展に寄与するという全日音研の目的に向けて尽力していきたいと思っております。

現在、「教員の働き方改革」出張・休暇が取りにくい状況などにより全日音研全国大会への参加者数が減少してきています。全日音研本部事務局では、今後の全日音研全国大会の安定的かつ持続可能な開催のために「全国大会開催に関する規定の策定と現規定の見直し」を図る方向で考えております。

結びに、令和7年も会員の皆様のご支援と連携の一層の強化をよろしくお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和6年度全日本音楽教育研究会 全国大会旭川上川大会を終えて



旭川上川大会実行委員長
(美瑛町立美瑛東小学校長)



令和さわやかな秋晴れの下、開催されました令和6年度全日本音楽教育研究会全国大会旭川上川大会は、600有余名の参加を得て、多くの成果を挙げ、成功裏に終わることができました。

令和6年10月10日(木)と11日(金)は、文字通り「とっても、とってもいい日」となりましたことに深く感謝申し上げます。本大会は、大会主題を「音とつながる 心がつながる 学びがつながる」と設定し、公開授業と記念演奏の中で、子どもたちの姿の中に表れることを目指して取り組んでまいりました。



1日目の公開授業につきましては、幼稚園3本、小学校5本、中学校4本、高等学校2本の授業を公開しました。どの授業も、子どもたちの音楽活動を楽しみ、学びを深めていく素敵な姿が見られ、参加された先生方の明日からの授業に生かすことのできる実践になっていたのではないかと考えております。

授業後の研究協議におきましては、全国各地からお集まりいただいた皆様から多くのご意見をいただくとともに、助言者の皆様から、今後の授業改善につながる貴重なご助言をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

また、文部科学省初等中等教育局視学官の志民一成様と教育課程課教科調査官の河合紳和様より全体講評をいただきました。本大会主題と全ての授業について高い評価と貴重なご助言をいただき、今後の旭川、上川の音楽教育の指針となりましたことを深く感謝いたします。

2日目の記念講演では、作曲家、合唱指導者の松下耕様から、これまでの人生を振り返り、今の子どもたちとどのような合唱を共有しているのかについて、心にしみるお話をいただきました。

大会フィナーレとなる記念演奏は、「ここからはじまる・・・」をテーマとして、旭川、上川の幼・小・中・高校生が、約1時間ノンストップの演奏を繰り広げました。スムーズな演出と舞台転換、そして、何より子どもたちの心のこもった演奏は、参加者の皆様と感動を共有いただけたものと考えております。

本大会は、授業だけではなく、記念演奏や運営面全てにおいて、旭川、上川が協力して、前年度の富山大会の成果と財産を受け継ぐとともに、令和の音楽教育の礎となり、さらに充実・発展したものとなるよう、総力を挙げて取り組んだ大会です。

こうして大会を無事終了できましたのは、本大会の準備から運営まで携わっていただいた全ての皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

結びに、本大会の開催に当たり、温かなご指導、ご助言を賜りました文部科学省、文化庁をはじめ、北海道教育委員会、関係諸機関の皆様には深く感謝申し上げます。旭川上川大会を終えてのごあいさつとさせていただきます。



令和6年度 大学部会大会のご報告

大学部会長 加藤徹也

令和6年度の大学部会大会は、10月の旭川大会に先立ち、9月28日に武蔵野音楽大学で開催されました。大会主題は「日本の伝統音楽の指導スキルの修得と向上」で、午前は研究発表、午後は大会主題に即した公開授業と講演が行われました。研究発表の内容は以下の通りです。(敬称略)

<研究発表>

①鑑賞授業における協調学習を通じた生徒の思考の変容

－《第九》に関する高校生の記述と発話の分析を通して－

東京藝術大学大学院博士後期課程 泉 碧 衣

②音楽的な思考を深める楽曲との「出会い直し」

－小学校と高等学校における〈白鳥〉を教材とした鑑賞授業の比較を通して－

山梨県立大学 越山沙千子

東京藝術大学 市 川 恵

元東京学芸大学 石上 則子

③中学校音楽科鑑賞教育における生成 AI 活用の可能性と課題

玉川大学 露崎 義矢

④教科横断的な視点に立った音楽劇活動の実際

：三浦市の小学校教師へのインタビューを通して

日本女子体育大学 堤 由 衣

⑤中学校音楽系部活動の地域移行に伴う『休日の地域クラブ活動化』に関する調査報告

－補助金を活用した例の分析－

愛知教育大学 新山王政和

今日的課題に即した興味深いテーマも見られ、多くの示唆を得ることができました。詳細につきましては大学部会の会報に掲載する予定です。

午後は総会に引き続き、以下の内容で進みました。

<公開授業と講演>

①音楽教育コースの大学2年生10名を対象とする三味線の実技指導で、山内雅子氏（明星大学・武蔵野音楽大学）の情熱溢れるご指導が印象的でした。

②田那辺祐希氏（文京区立第八中学校）による中学校の授業実践報告で、ゲストティーチャーと教員が協働する授業づくりについて、現職ならではの視点による提言がなされました。

③福井昭史氏（長崎女子短期大学）の長年の研究と実践に基づく講演で、優しい語り口に引き込まれ、多くの学びを得ることができました。

当日は60数名の方にご参加いただきましたが、PRの不足が反省点として挙げられます。次年度は佐賀で開催される総合大会に加えて頂くこととなりました。九州を含む多くの先生方の交流の輪が広がるよう努めてまいります。

<令和7年全日音研「新年祝賀の会」> 令和7年1月20日(月) 18:00～



武蔵野音楽大学 キャンパスレストラン

「インテルメッツォ」にて福井直昭会長の挨拶

令和7年全日音研「新年祝賀の会」に、ご来賓、各支部長、小中高の各部会、賛助会員等、総勢63名が参加して盛大に開催することができました。特に、今年は日本放送協会よりNコン統括の伊井島宏和様他3名が、また次年度全国大会「佐賀大会」事務局長の末次知子様他1名にもご参加いただき、ご挨拶とご案内をいただきました。楽しく飲食しながら、互いに交流を深めることができ、有意義なひとときを過ごすことができました。会の終わりに、大学部会常任理事の東京音楽大学の工藤豊太先生の指揮で恒例の「ふるさと」の合唱で会をお開きとすることができました。

【令和7年度 全日音研全国大会と各地区音研大会の第一次案内】

令和7年度の全日音研全国大会と各地区音研大会の第一次案内のチラシを全日音研と（公財）音楽鑑賞振興財団のホームページに掲載しました。問い合わせ先等は、そちらをご覧ください。

各先生方の次年度の年間計画にご予定いただき、授業改善や授業力向上にお役立てください。

○第67回北海道音楽教育研究大会 札幌大会（小中学校部会、高等学校部会）

大会主題（全道共通主題）：「音楽のよさを分かち合い 確かな力を育む音楽教育」

期日：12月5日（金） 大会会場：札幌市教育文化会館

○第73回東北音楽教育研究大会 福島大会（小中学校部会、高等学校部会）

大会主題：かがやく瞳・きらめく音・ときめく心を育む音楽の学びを求めて

～音楽科授業において「主体的に学習に取り組む態度」をどう評価するか～

期日：11月7日（金） 全体会：ふくしん夢の音楽堂 大ホール

○第67回関東甲信越音楽教育研究会 埼玉大会（小中学校部会）

大会主題：アナログ×デジタルで進化（深化）する

～音楽の授業における個別最適&協働的な学び～

期日：11月7日（金） 全体会：戸田市文化会館

○第19回東海北陸小中学校音楽教育研究大会 岐阜大会（小中学校部会）

第35回岐阜県音楽教育研究大会

大会主題：楽しさと確かさの中に美しさを求める子をめざして

～子どもの可能性を引き出す音楽科の授業～

期日：11月20日（木）・21日（金） 全体会：岐阜市民会館 大ホール

（11月20日（木）18:30～20:00：レセプション（グランヴェール岐阜）

○第67回近畿音楽教育研究大会 兵庫大会（幼稚園部会、小中学校部会、高等学校部会）

大会主題：「音楽の学びがつなぐ 音・人・未来」

期日：6月20日（金） 全体会：神戸国際会館「こくさいホール」

○第56回中国・四国音楽教育研究大会 鳥取大会（幼稚園部会、小中学校部会、高等学校部会）

大会主題：「おながっていいな！～つなげよう 拓こう 未来を 音と心で～」

期日：11月14日（金） 全体会：とりぎん文化会館 梨花ホール

○令和7年度全日本音楽教育研究会全国大会 佐賀大会 総合大会

（小中学校部会、高等学校部会、大学部会）

第66回九州音楽教育研究大会 佐賀県大会

第26回佐賀県音楽教育研究大会 佐賀・小城・多久地区大会

大会主題：育てよう 音楽と豊かに関わる子ども

～音楽科及び芸術科音楽における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの

授業改善と「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～

期日：10月23日（木）・24日（金） 全体会：佐賀市文化会館

<各支部長様へのお願い>

- 1月28日（火）付で各支部長様宛にメール送信しました「全国大会開催に関する規定の策定及び現規定見直しに関するアンケート調査」を2月16日（日）までにご回答いただき、下記の全日音研事務局までご送信ください。お忙しい中とは存じますが、よろしくお願いいたします。

送信先：全日音研事務局 事務局長 菊本和仁

アドレス：zennichion@jsme.net